

談話会通信

No. 41

東京蜘蛛談話会

心なびく早春・春。クモしぬむりぐらさめ、虫をとりもどします。
コートをおいで野に山に里にぞかけましょう。きつと、小
さな心おどる発見があるはずぞす。

・住所変更の方ぞす。よろしく。

・貞元乙良 〒104 東京都中央区晴海1丁目1番26号
警視庁月島警察署黎明寮304号室

・鈴木勝浩 〒343-01 埼玉県北葛飾郡松伏町松伏3385

東京蜘蛛談話会 総会・例会

4月17日(日) A.M. 10:00~

大橋区民会館 (詳細は別紙に)

責任者 加藤輝代子 〒270 市川市菅野3-1-26 ありろ荘
TEL. 0473-25-4436

春の採集会・観察会 5月15日(日)

五日市(かりよせ橋付近)

集合 国鉄五日市線 武蔵五日市駅

午前10時集合(雨天決行)

(立川発 9:05 または 9:34 が便利です。
立川←武蔵五日市 約35分です。)

連絡先 加藤輝代子

全国からの お便り ぞす

自己紹介 遅沼瓦乙

埼玉の遅沼瓦乙より

談話会通信のNo. 19 (1977年)に、会員どうし紹介し、
9月9日交流を深める欄に、自己紹介はとじに、
の他記事がのりまし。他乙紹介。現在た方々、
自己紹介No. 20に、鈴木不勝浩さん、No. 21に、
貞元乙良さん、No. 22に、野伸二さん、
私田まゆみさん、吉川伊智郎さん、
他乙紹介。嶋田順一さん、それ以上、
松浦祐司さん、新海栄一さん、
己紹介以降は4名。お便り
乙紹介

よみやがえしこみまると、高の
政生や又学はだ、た入、ち、の
ぞす。今ごいほ、入、す、や、会
なら、れこ、は、す、は、社、人
もの、もこ、は、す、は、記、事、の
てい、るご、は、す、は、な、が、知
つが、し、い、ど、ち、い、お、し、分
記録に、も、な、て、い、る、と、お、い、ま

良企画と、も、う、の、す、が、
一度中、断、す、し、と、は、か、の、な、か、
に、こ、い、ま、ご、す、の、し、つ、の、ま、に、
介、度、復、活、先、鞭、を、つ、り、こ、め、ま、し、
て、その、先、鞭、を、つ、り、こ、め、ま、し、

東京蜘蛛談話会に入ります。し、ま、し、
まも、一、の、年、に、お、り、ま、す。が、こ、の
耳、一、の、年、に、お、り、ま、す。が、こ、の
も、一、の、年、に、お、り、ま、す。が、こ、の
じ、あ、ま、ど、し、こ、の、ま、り、ご、い、
加、し、こ、の、ま、り、ご、い、
方、々、こ、の、ま、り、ご、い、
の、知、識、は、こ、の、ま、り、ご、い、

私自然や平みどエグも採
は、の、虫、ど、り、が、ト、モ、採
と、中、は、は、た、き、グ、に、集
に、に、ど、は、た、き、グ、に、集
か、身、の、く、し、ガ、呼、は、
く、を、い、ろ、家、め、ク、呼、は、
野、山、を、こ、ろ、な、自、す、中、の、
を、こ、ろ、な、自、す、中、の、
を、こ、ろ、な、自、す、中、の、
を、こ、ろ、な、自、す、中、の、
を、こ、ろ、な、自、す、中、の、

後輩に、お、り、ま、す。し、ま、し、
後、下、ア、テ、こ、の、類、物、を、
後、下、ア、テ、こ、の、類、物、を、
後、下、ア、テ、こ、の、類、物、を、
後、下、ア、テ、こ、の、類、物、を、
後、下、ア、テ、こ、の、類、物、を、
後、下、ア、テ、こ、の、類、物、を、
後、下、ア、テ、こ、の、類、物、を、
後、下、ア、テ、こ、の、類、物、を、
後、下、ア、テ、こ、の、類、物、を、
後、下、ア、テ、こ、の、類、物、を、

・東京の小沢さしより、いただきました。

東京新聞 58年1月3日付
(9面)

東北の佐々木さしに負けず、みごと。ガンツましょう。



「魅せられて…」

人前に身近な虫なのに、
かく気持ち悪く思われがちな

クモ。研究の進れを取り戻す
べく、宮城深泉市の八乙女小
教諭佐々木勝英さん(56)が、
県内の生息調査に乗り出し
た。

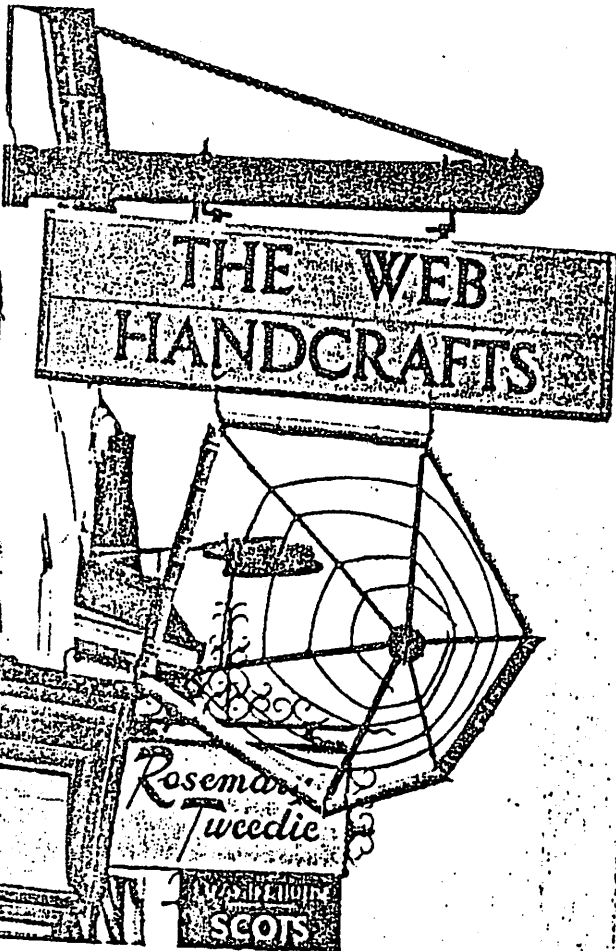
県には本格的な研究者が少
なく、県内の分布も確定され
ていない。大学で生物学を専
攻した佐々木さんは自宅近く
の仙台市台原森林公園や八乙
女小園で「コンコト」探検を
進め、「これまで二百十五
種の分類、確認に成功した。
全種には二十年間に三百
種以上の新種が発見され、全

部で二千種を超える種に分類
されているという。「県内でも、
今後十年も調べれば四百
種類くらいは確認できるはず」と
佐々木さん。
嫌われものに魅せられて、
生体観察にも力を入れるつもりだ。
(河北新報)

ある週刊誌より(鈴木勝浩)



ヨーロッパの看板」という下からみつりました。(鈴木勝浩)



民芸品店

私の恩師が、おらへる藤原をよりの、いほだいにものごす。
557年度、青少年読書感想文コンクール入賞作品集にあつたものに
とうごす。はしと千国をよりのおらへる「クモたちの狩り」をよしごの
感想文ごした。ちほみに藤原をよりの、今、浦和の学校でよしとておらへます。

(すきかほ)

32 「クモたちの狩り」を読んで

一戸町立奥中山小学校中山分校

六年 山 火 行 政

この本を読むまでは、ほくの頭は、昆虫の王者、「カブト虫」のとりこになっていた。あのかてかと思ひやりする色、王者らしいかつこうよき、強さ、どれをとつても、ほくにとつてはたまらない魅力ある昆虫だった。

それが、クモとなると。自分の家のまわりや、あたりの野山、それに学校の廊下や、便所など、いたる所で、クモの網や、クモの卵などを見ていながら、今まで、なんの興味ももたなかった生き物だった。

ところが、「クモたちの狩り」を読んでからは、ほくの、クモやクモの網を見る目がかわつてきた。

クモたちの網造りの妙技や、その網の美しさや形のおもしろさ、それに、獲物をとるための知恵や、食べ方、じぶんの網にかからないひみつなど、どれをとつても、ほくには驚きだった。網の美しさでは、なんととっても、シロウグモの馬てい形のレース網だった。もう一つは、ほくたち北國の人たちには、見る事のできない、メツシユの網目をした、スズミグモのドーム網だった。ヒラタグモのタコ足状網にも驚かされた。タコ足状網は、獲物をとるためのみごとな番号糸を持っていた。この番号糸は、たいていの網にあり、これが獲物をとる大切な仕組みであった。ほくは、このような網の仕組みにすっかり心をうばわれてしまった。しかし、本を読んで驚いてばかりいられないと思つたほくは、クモの網造りをどうしても観察してやろうと決心した。クモは、夕方から夜に網をはることを知つたほくは、クモがよく網をはっている、自分の家の後に行つてみた。「いたいた、しめた」と思つたほくは、このクモの網造りの観察を始めた。少し見ていたら、母がきて、「何やってりゃ」と言つた。ほくは、「クモが、今網造つてらがら、見でら」と言つたら、母も、ほくと一緒に網造りを見ていた。「このクモ、何というクモだべ」と母に聞いたら、「オニグモなんだ」と答えた。ほくは、中学校にも入っていない母の言うことだから、(本当かな)と思つて、家に入つて図鑑で調べたら、確かにオニグモらしかった。外に出たほくは、又観察を始めた。クモが網造りを始めたのがだいたい五時二十五分頃で、終わったのが六時五分頃だった。だいたい四十分位で一つの網がはれるんだなと思つた。よく見ていたら、後足の二本が、網造りの時の大事な働きをしていた。(同じ足でも、後足は、網造りの役目をする足だとすると、残りは六本で、カブト虫や、クワガタの仲間になるんだ)と、自分かつてに考えながら網造りの妙技に見とれていて、とても楽しい時間だった。

この本を読み終わったほくは、クモの奇妙で複雑な生活の仕方を、いろいろと知つて驚嘆したが、それと同時に、「よし、ほくも、これから、クモの観察をやつてやろう」という気持ちがあつてわいてきた。校舎の廊下には、今もクモが卵を産んでいる。観察のチャンスはいくらでもあるとほくは思つた。

千国安之輔「クモたちの狩り(上)——網をはるくも」(偕成社)

Kishidaia 投稿規定

1. 投稿資格は本会会員とする。ただし共著者には、会員以外の者を含むことが出来る。依頼原稿については、本会会員ごなくとも、運営委員会の承認があればよい。
2. 原稿内容は、クモや東京蜘蛛談話会に関する解説、記録、紀行文、感想などとする。動物分類命名規約に関するものは除く。
3. 原稿の採否については、運営委員会にて決定する。また、原稿に対して加筆・削除・修正などを願うことがある。
4. 頁数は図表を含めて、刷上り1頁以内とし、超過頁分は、著者全額負担とする。(現状、1頁につき2000円とするが印刷費の変更等により、金額がかわることがある。)
5. 図・写真は、原寸大を原則とし、拡大、縮小ある場合は、金額は著者負担とする。
6. 別刷は原稿の1頁目の上部に、別刷の必要枚数および表紙の有無を赤字で記入する。(別刷の金額は、全額著者負担とする。)

原稿作成上の注意

1. 原稿用紙は、44字×18字か、44字×36字の横書き用紙をどきるだけ使用して下さい。事務局にて44字×18字の原稿用紙が用意してあります。なお、Kishidaia は44字×35行で、1頁となります。
2. 学名をビイタリック体を使用する場合には、その下に赤線を引いて下さい。1学名の場合、属名と種名、それぞれに赤線を引いて下さい。
3. 写真は白黒にして下さい。図は製図用インクなどにて、墨入れして下さい。
4. 文章は(44字原稿用紙使用)5行目から書きはじめ、1行めにタイトルを3行目に著者名をかき入れて下さい。

文 献 幹 旋

1. Wiehle, H. (1956) Die Tierwelt Deutschlands und der angrenzenden Meeres-
teile nach ihren Merkmalen und nach
ihrer Lebensweise. 44. Spinnentiere.
28. Familie Linyphiidae. 337pp.
Veb Gustav Fischer Verlag (Jena)
(1冊のみ ¥6800. -)
2. Seitz, K-A. (1966) Normale Entwicklung
des Arachniden-Embryos *Cupiennius*
salei Keyserling und seine Regula-
tionsbefähigung nach Rontgenbestrah-
lungen. Zool. Jb. Anat., 83: 327-447.
(1冊のみ ¥2700. -)
3. Schawaller, W. & H. Ono (1979) Fossile
Spinnen aus miozänen Sedimenten des
Randecker Maars in SW-Deutschland
(Arachnida: Araneae). Jh. Ges. Naturkde.
Wurttemberg, 134: 131-141. (1冊のみ ¥250. -)
4. Ono, H. (1966) Erstnachweis einer Krab-
benspinne (Thomisidae) in Dominikan-
ischem Bernstein (Stuttgarter Bern-
steinsammlung: Arachnida, Araneae).
Stuttgarter Beitr. Naturk., ser. B. 73:
1-13. (1冊のみ. ¥250. -)
5. Ono, H. (1978) Thomisidae aus dem Ne-
pal-Himalaya. 1. Das Genus *Xysticus* C. L.
Koch 1835 (Arachnida, Araneae). Senck-
enbergiana biol., 59 (3/4): 267-288
(3冊あり. 1冊 ¥250. -)
6. Ono, H. (1979) Thomisidae aus dem Ne-
pal-Himalaya. 2. Das Genus *Lysiteles*
Simon 1895 (Arachnida, Araneae).
Senckenbergiana biol., 60 (1/2): 91-108.
(4冊あり. 1冊 ¥250. -)
7. Ono, H. (1980) Thomisidae aus dem Ne-
pal-Himalaya. 3. Das Genus *Stiphropus*
Gerstaecker 1873. mit Revision der
asiatischen Arten. (Arachnida, Arane-
ae). Senckenbergiana biol., 61 (1/2):
57-76. (3冊あり. 1冊 ¥250. -)

8. Ono, H. (1977) Thomisidae aus Japan 2. Das Genus Oxytate L. Koch 1878 (Arachnida, Araneae). Senckenbergiana biol., 58 (3/4): 245-251. (4冊あり 1冊¥250.-)
9. Ono, H. (1979) Thomisidae aus Japan 3. Das Genus Lysiteles Simon 1895 (Arachnida, Araneae). Senckenbergiana biol., 60 (3/4): 203-217. (3冊あり. 1冊¥250.-)
10. Ono, H. (1981) Verwandtschaft von Tetrablemma phulchoki ehtinen 1981 (Arachnida, Tetrablemmidae). Senckenbergiana biol., 62 (4/6): 203-217. (コピー. 2部あり. 1冊¥200.-)

以上の文献の他、British spiders 1・2・3も入手可能です。
 お問い合わせ、ご連絡は、松本誠治へお願い致します。(Tel. 自宅0423-42-0906 または大学0422-47-5511)

<p>今年度 活動計画</p> <p>5月15日 } 採集・観覧会 7月24日 } 10月16日 } 東京 1979年2月19日 } 秋川・栗谷</p> <p>4月17日 総会・例会 (木橋区民会館)</p> <p>7月29日~31日 会宿 (箱根方面) 宿は、ほろがわ旅館</p> <p>11月27日 合同例会 (木橋区民会館)</p>	<p>・会計より (558.3.1現在)</p> <p>口座番号 横浜0-1460</p> <p>受領報告 (敬称略)</p> <p>・57年度 吉谷昭憲 下謝名 松本</p> <p>・58年度 田中穂積 下謝名 松本 松田まゆみ</p> <p>御寄付 嶋嶋泉様 900円</p> <p>会計についての御質問・御意見 は会計まで</p> <p>〒210 川崎市川崎区観音1-14-15 高橋 登</p> <p>tel. 044 (288) 2921 (P.m. 9~10時の間におねがいします)</p>
--	---

・事務局からの報告

・ 会費の納入は、下早めに。

一般 .. 2800円

高校生以下.. 2000円

よろしくおねがいします

・ 次回 運営委員会は、4月8日(金)、午後6時30分より。

談話室 滝沢(新宿西口南)においで

をお願いします。どうぞ、気軽に。

お願いします。詳しいことは加藤まで

・ Kishidaia のび談話会
通信の原稿を募集しております。

今年度の活動計画も正式に
決定しました。

みなさん、都合のよろしい方は

どしどし参加しましょう。

あと 新たな感動が.....

東京蜘蛛談話会

1983年3月15日発行
No. 41

本部 〒191 日野市 多摩平 7-15~9 菅嶋泉 方
tel. 0425-81-7128

事務局 〒272 市川市 菅野 3-1~6 あびる荘
加藤 輝代子 方
tel. 0473-25-4436

会計 〒210 川崎市 川崎区 観音 1-14~15
高橋 登 方
口座番号 横浜0-1460番 tel. 044-288-2921

Kishidaia 〒375 飯能市 本町 5~4 嶋田 順一 方
原稿受付 tel. 0429-73-3022

通信原稿 〒343-01 北葛飾郡 松伏町 松伏 3385
受付 tel. 0489-81-2984 鈴木勝浩 方